

平成 29 年度 地方創生交付金・地方創生応援税制活用事業 実施報告

事業名	地域資源を活かした水素関連投資促進によるまち・ひと・しごと創生事業
所管課	市長公室 企画部 企画推進担当

活用制度	地方創生推進交付金		
事業費	9,194,800 円	交付額	4,597,400 円

事業概要	<p><b>【背景・目的】</b></p> <p>○堺臨海部は関西の石油・LNG の 65%を取扱う一大エネルギー拠点である。また、日本最大級の液体水素プラントをはじめ、日本全体の水素の約 1 割を生産・消費する企業が集積する重要拠点である。</p> <p>○これらポテンシャルを活かし、産学官連携のもと水素関連の投資促進モデルを構築することで、水素エネルギーの利活用促進や市場拡大を通じたしごと・雇用の創出と地域の発展を図っていく。</p> <p>○産学公からなる「堺市水素エネルギー社会推進協議会」を構築し、水素社会構築に向けたロードマップを平成 28 年 7 月に策定。</p>
	<p><b>【具体的な取組内容】</b></p> <p>○ロードマップによる臨海部水素エネルギーコンビナート構想の実現に向け、将来の海外からの水素供給も見据えた臨海部のポテンシャル等（水素需要量の現状及び将来推計等）の把握とともに、臨海部における水素ネットワーク拠点（水素 HUB）構築にあたっての水素サプライチェーンの誘致条件・課題整理やネットワークモデル案等の調査検討を実施した。あわせて、スマート水素エネルギータウン構想の実現に向け、FC フォークリフトや水素ステーションなど、水素利活用モデルの構築に向けた検討を行った。</p>

K P I（重要業績評価指標）の実績

指標名	現状値	目標値	実績値
水素エネルギー関連の民間投資額		1,000,000 千円	11,400,000 千円

**KPIの実績  
を踏まえた  
今後の方向性**

ロードマップの構想実現に向け、協議会メンバーと連携しながら、将来の臨海部における水素HUB構築に向け、臨海部の優位性等とともに段階的な展開シナリオ、課題、必要な取組などを示すビジョンの作成を行う。また、市街地における水素利活用に向けては、引き続き、広域アクセス性に優れたエリア等における水素ステーションなど、水素の利活用が見込まれる土地の特性に応じたモデルを体系的に整理するなど、将来の水素社会の実現につながるような水素活用モデルの構築検討を進める。

## 平成 29 年度 地方創生交付金・地方創生応援税制活用事業 実施報告

<b>事業名</b>	だれもが働きやすく、活躍しやすい地域創出支援事業
<b>所管課</b>	産業振興局 商工労働部 産業政策課

<b>活用制度</b>	地方創生推進交付金		
<b>事業費</b>	16,621,253 円	<b>交付額</b>	3,502,540 円

<b>事業概要</b>	<p><b>【背景】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○有効求人倍率が上昇する一方で、本市の生産年齢人口は総人口を上回るペースで減少しており、有業率は他地域より低い状況にある。</li> <li>○また、本市南区では、若い世代が大阪市への交通利便性の高い地域を中心に転出する傾向にあり、生産年齢人口の転出超過が他区と比べ顕著で高齢化が加速している。</li> </ul> <p><b>【目的】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人口減少・少子高齢化の中で新たな担い手として期待される女性や高齢者等の活躍を推進するため、働きやすい環境や仕組みづくり等、就労を促進する取組を行う。</li> <li>○泉北ニュータウン地域の魅力向上に向けて、地域資源を活用したコミュニティビジネス立ち上げ推進等、職住近接による「働きやすく暮らしやすいまち」の実現に向けた取組を推進する。</li> </ul> <p><b>【具体的な取組内容】</b></p> <p>《コミュニティビジネス等進出支援事業》</p> <p>アクティブシニアの活躍や高齢者の生活支援サービス等を中心に、コミュニティビジネスの立ち上げや実施に関し、セミナーの実施等による支援等の取組を実施した。</p> <p>《職住近接のライフスタイル提案支援事業》</p> <p>泉北ニュータウン地域在住の方を中心に、起業に関するセミナーや連続講座、アドバイザーによる個別サポート等の支援等の取組を実施した。</p> <p>《女性の活躍推進事業（交付金充当なし）》</p> <p>結婚、出産、育児、介護等の様々な理由で離職し、再就職をめざす女性を対象とした研修や市内企業等での職場体験を通じたキャリアブランクの解消支援等の取組を実施した。</p>
-------------	--

KPI（重要業績評価指標）の実績

指標名	現状値	目標値	実績値
泉北ニュータウンを中心に女性やシニアの新たな起業や、起業準備を開始した人数		10 人／年	7 人／年
女性のキャリアブランク解消支援事業における就職決定者数	14 人／年	17 人／年	16 人／年

KPIの実績  
を踏まえた  
今後の方向性

- 引き続きセミナーやワークショップ、専門相談等の支援策を実施するなど、起業につながる取組を推進していく。
- また、引き続き、女性求職者のニーズに沿った座学講座の実施や企業とのマッチングを実施し、女性求職者に対する支援を行っていくとともに、女性をはじめだれもが活躍できる職場環境づくりに対する支援を行っていく。
- 企業活動の海外展開などグローバル化が進展するなか、その担い手として現地の言語や習慣に精通し、専門知識を有する優秀な外国人の採用ニーズが高まっている状況をふまえ、平成 30 年度に「外国人材雇用支援事業」を初めて行う。
- なお、今年度は、外国人雇用について、市内企業が正しい知識とその効果等に対する理解を深め、経営力の向上を図るため、「外国人雇用支援セミナー」を実施する。

## 平成 29 年度 地方創生交付金・地方創生応援税制活用事業 実施報告

<b>事業名</b>	堺産品国内外需要拡大支援事業
<b>所管課</b>	産業振興局 商工労働部 産業政策課

<b>活用制度</b>	地方創生推進交付金		
<b>事業費</b>	20,912,685 円	<b>交付額</b>	5,000,000 円

<b>事業概要</b>	<p><b>【背景・目的】</b></p> <p>○現在、伝統産業や地場産業においては、少子化等による国内市場の縮小やライフスタイルの変化等によって、十分な販路を拡大することが困難な状況となっている企業が少なくない。また、後継者問題については、職人の高齢化が進むなど厳しい状況にもある。このような中においては、匠の技術を伝承しながらも新たな分野への挑戦を続ける機運を醸成することで、魅力ある働き先としての新しい雇用を次々と生み出す環境を整備していくことが必要である。</p> <p><b>【具体的な取組内容】</b></p> <p><b>【堺打刃物の海外プロモーション】</b></p> <p>海外で開催の大型展示会に出展するとともに、現地で和食調理や研ぎの実演等を実施。また、海外の代理店を招いた研修事業も実施。</p> <p><b>【堺産品ブランド強化事業】</b></p> <p>多様化する消費者やユーザーのニーズに対応できるよう、個々の事業者の特性に応じた商品改良計画や、首都圏に販路を持つバイヤーとのマッチングを実施。</p> <p><b>【伝統産業振興事業】</b></p> <p>見学者・体験者の受け入れに対応するため、見学者受入スペースの改装、体験用機材の設置、展示スペースの改装などを実施。</p>
-------------	--

### K P I（重要業績評価指標）の実績

指標名	現状値	目標値	実績値
堺産品の海外展示会での成約金額	766 千円	1,166 千円	1,740 千円
堺産品製造・販売事業者の雇用の増加	/	20 人	6 人

KPIの実績  
を踏まえた  
今後の方向性

【堺打刃物の海外プロモーション】

平成29年度のアメ리카でのプロモーションでは目標を達成し、一定の認知と取引先を得たため、今後は新規市場として欧州を対象に事業を実施する。

【堺産品ブランド強化事業】

商品改良計画や、バイヤーとのマッチングにより、首都圏での販路開拓において一定の成果を出すことができた。堺産品を扱う事業者が自力で販路開拓・商品改良ができる企業となるよう、引き続き事業を実施する。

【伝統産業振興事業】

見学者・体験者の受け入れ対応のための整備について、3社に補助金を交付した。本市のものづくり事業者のイメージ向上、集客による地域活性化に資するため、引き続き事業を実施する。

平成 29 年度 地方創生交付金・地方創生応援税制活用事業 実施報告

事業名	堺市博物館のリニューアル
所管課	文化観光局 博物館 学芸課

活用制度	地方創生拠点整備交付金		
事業費	3,239,038 円	交付額	1,619,519 円

事業概要	<p><b>【背景・目的】</b></p> <p>○百舌鳥・古市古墳群の国内推薦決定や世界文化遺産登録実現により増加が予想される来訪者に対し、本市が有する歴史文化の魅力を伝えるとともに、歴史文化資源が数多く残る本市の中心市街地との回遊性の向上を図ることにより、賑わいの向上や市内経済の活性化を図る。</p>
	<p><b>【具体的な取組内容】</b></p> <p>○博物館を訪れた方々に対して、堺が有する魅力を記憶にとどめて頂くための記念品等の販売や中心市街地にある「さかい利晶の杜」や「堺伝統産業会館」への案内により、市内における回遊性の向上を図るため、その拠点となるミュージアムショップをリニューアルした。その内容はショップを囲むパーテーションの設置、グッズ陳列台の製作・設置、ショップサイン設置等のほか、照明工事等である。</p>

KPI（重要業績評価指標）の実績

指標名	現状値	目標値	実績値
博物館来館者数	154,416 人 (平成 27 年度)	155,000 人 (平成 29 年度)	161,866 人 (平成 29 年度)
ミュージアムショップ 売上	3,589,310 円 (平成 27 年度)	3,600,000 円 (平成 29 年度)	3,485,720 円 (平成 29 年度)

KPIの実績  
を踏まえた  
今後の方向性

新たなミュージアムグッズを企画開発し、リニューアルしたミュージアムショップで販売することによって堺の魅力を発信していく。これによりショップでの滞留時間が長くなり賑わいが生まれ、グッズ購入者はもちろん退館前の来館者とのコミュニケーションも生まれやすくなる。そこで、堺の旧市街地等にある他の施設の情報を発信し誘導することにより、来堺者の市内での回遊性の向上を図る。

平成 29 年度 地方創生交付金・地方創生応援税制活用事業 実施報告

事業名	プロジェクションマッピング事業		
所管課	市長公室 広報部 シティプロモーション担当		
活用制度	地方創生応援税制		
事業費	15,319,332 円	寄附額	900,000 円

事業概要	<p><b>【背景・目的】</b></p> <p>○中心市街地の回遊性、継続的な歴史文化関連の観光資源への訪問、市外からの来訪者数を高めていくため、中心市街地のメインストリートである大小路筋を中心に、全域において堺プロモーションによる観光誘客につながる事業を推進していく必要がある。</p> <p>○本市出身でプロジェクションマッピングの第一人者である村松亮太郎氏の監修のもと、市内の小学生等が作品の制作に関わることで、子どもたちの芸術性や創造性を育むことに加え、本市への愛着の形成を図るとともに、中心市街地にさらに人を呼び込み、そこから市内の他の観光資源への回遊性を高め、地域全体の賑わいや活性化につなげる。</p>
	<p><b>【具体的な取組内容】</b></p> <p>○中心市街地に位置する市民交流広場において、市内中学生と村松亮太郎氏がワークショップを通じて共同制作した「堺で大切にしたい文化」をテーマとしたプロジェクションマッピングを実施。</p>

KPI（重要業績評価指標）の実績

指標名	現状値	目標値	実績値
プロジェクションマッピング来場者数		85,000 人	51,023 人
堺東駅周辺の流動人口	360,000 人 (平成 26 年 12 月)	410,000 人 (平成 29 年 12 月)	最新値未発表
RESAS 目的地分析の大阪府年間上位 20 位以内の中心市街地の施設件数	0 件	1 件	最新値未発表
「さかい利晶の杜」への来館者数（月間）	29,514 人 (平成 26 年 12 月)	33,250 人 (平成 29 年 12 月)	19,089 人 (平成 29 年 12 月)
百舌鳥古墳群の存する大仙公園の観光ガイドの年間利用者数	49,875 人	54,000 人	48,636 人

**KPIの実績  
を踏まえた  
今後の方向性**

プロジェクションマッピングの投影時間短縮に伴い、来場者数が目標値を下回った。今後は、短時間でも人を呼び込める作品の制作や取組を行うとともに、プロジェクションマッピング実施場所から「さかい利晶の杜」をはじめ、中心市街地を回遊したくなる取組を強化し、地域全体の賑わいにつなげる。

## 平成 29 年度 地方創生交付金・地方創生応援税制活用事業 実施報告

<b>事業名</b>	堺市民芸術文化ホール整備事業
<b>所管課</b>	文化観光局 文化部 文化課

<b>活用制度</b>	地方創生応援税制		
<b>事業費</b>	4,185,893,305 円	<b>寄附額</b>	26,000,000 円

<b>事業概要</b>	<p><b>【背景・目的】</b></p> <p>○平成 26 年 3 月末をもって閉館した市民会館を、芸術文化による感動・喜びを通じた都市魅力の創造・発信を基本理念として建替え整備することで、市民が国内外の優れた芸術文化を鑑賞し、自らも創造・発表する機会を提供する。</p> <p>○本市の文化力向上に資するとともに、都市イメージや都市格の向上、まちの賑わい創出に寄与する。</p> <p><b>【具体的な取組内容】</b></p> <p>平成 28 年度 地下躯体工事          平成 29 年度 地上躯体工事          平成 30 年度 地上躯体工事、内外装工事、外構工事等</p> <p>《新施設の概要》</p> <p>敷地面積 14,333 m<sup>2</sup>          延床面積 約 19,650 m<sup>2</sup>          施設内容 大ホール 2,000 席、小ホール 312 席、大スタジオ、多目的室、小スタジオ、文化交流室、レストランなど</p>
-------------	---

### K P I（重要業績評価指標）の実績

指標名	現状値	目標値	実績値
堺東駅及び堺駅の定期利用者を除く乗降客数	42,820 人 (平成 28 年 3 月)	43,360 人 (平成 30 年 3 月)	43,974 人 (平成 30 年 3 月)
<b>K P I の実績を踏まえた今後の方向性</b>	<p>○平成 31 年秋開館に向け、建設工事を含めた準備を進める。</p> <p>○平成 30 年度には、開館に向けての機運醸成を図るため、プレ事業を実施することにより、ホールの知名度向上と会員獲得を実現する。</p> <p>○平成 31 年度には、オープニング事業にて華々しいラインナップの公演を実施することにより、ホールのブランドを構築し、開館後の安定的な集客を実現する。</p>		

## 平成 29 年度 地方創生交付金・地方創生応援税制活用事業 実施報告

<b>事業名</b>	大仙公園エリアおもてなし環境向上事業
<b>所管課</b>	文化観光局 世界文化遺産推進室

<b>活用制度</b>	地方創生応援税制		
<b>事業費</b>	94,586,625 円	<b>寄附額</b>	500,000 円

<b>事業概要</b>	<p><b>【背景・目的】</b></p> <p>○本市では、百舌鳥・古市古墳群の平成 31 年度の世界文化遺産登録をめざしている。来訪者が増加する中、おもてなしトイレの整備や無料公衆無線 LAN の整備を行い、市民や来訪者に百舌鳥古墳群や大仙公園エリアを快適に周遊して頂ける環境の創出を図り、来訪者が堺の魅力に触れ、「堺に来てよかった」、「また、堺を訪れたい」と感じて頂くことにより、さらなる交流人口の増加につなげる。</p> <p><b>【具体的な取組内容】</b></p> <p>○無料公衆無線 LAN サービス「Osaka Free Wi-Fi」（屋外）を仁徳天皇陵古墳拝所前のほか全 5 箇所に設置。</p> <p>○大仙公園いこいの広場便所（おもてなしトイレ）の整備 床面積 106.2 ㎡。男子トイレ、女子トイレ、多機能トイレ、キッズトイレ、休憩コーナー、各ブースに非常用ブザーを設置、防犯カメラを休憩コーナーと外部に一か所ずつ設置。女子トイレにパウダーコーナー設置。</p>
-------------	---

### K P I（重要業績評価指標）の実績

指標名	現状値	目標値	実績値
大仙公園エリアに近接する J R 阪和線百舌鳥駅の乗降客数	436 千人 (平成 28 年 3 月)	446 千人 (平成 30 年 3 月)	423 千人 (平成 30 年 3 月)
観光ビジター数	983 万人 (平成 28 年 3 月)	1,100 万人 (平成 30 年 3 月)	1,055 万人 (平成 30 年 3 月)
<b>K P I の実績を踏まえた今後の方向性</b>	<p>○おもてなしトイレでは更に堺の魅力に触れて頂く為、堺ゆかりの注染手拭い等、展示を工夫する。</p> <p>○今後、更に無料公衆無線 LAN の整備を進め、来訪者の利便性の向上に取り組む。</p>		